

議事録

■会議名

令和5年度 第1回 品川区防災会議

■会議日時

令和5年10月12日（木）午前10時00分から午前10時45分

■場所

品川区役所第二庁舎4階 災害対策本部室

■出席者

防災会議会長 1名

防災会議委員 60名（別紙のとおり）

事務局 15名（防災課長、防災体制整備担当課長、災害対策担当課長、防災課計画係長、
防災課啓発・支援係長、防災課避難体制係長、防災課防災設備係長、
防災課防災安全担当主査、防災課計画係係員5名、防災課避難体制係1名、
防災課国民保護担当1名）

傍聴人 0名

■決定事項

議題：令和5年度品川区地域防災計画（素案）について

結果：可決

■次回会議日時

令和6年2月（予定）

■進行概要

〔司会：災害対策担当部長〕

- ・配布資料の確認
- ・開会

〔会長：森澤区長〕

- ・開会挨拶

〔司会：災害対策担当部長〕

- ・傍聴人 0名
- ・新規防災会議委員の紹介省略の旨
- ・議題「令和5年度品川区地域防災計画（素案）について」
「今後のスケジュールについて」

（進行→防災課長へ）

〔事務局：防災課長〕

- ・議題の説明

〔司会：災害対策担当部長〕

- ・説明についてご意見・質問等の確認
- ・避難行動要支援者の方の支援について、共助の力だけで対応することに限界があるのではないか。
→発災後3日間は区の支援も届きづらく、共助の力の持つ意味が大きい。そのため、平常時において、
共助の体制づくりに向けて、公助として支援していく。

- ・避難所開設基準として震度を基準とする旨、説明があった。震度基準は気象庁発表によるものか。
→気象庁から公表された情報に基づく。
- ・避難所開設のほか、様々な地震対応についても、震度を基準にしていくのか。
→震度を基準としていきたい。なお、初動対応は震度が基準となるが、災害対策本部の設置後は、本部で情報を収集し、対応を決定していく。
- ・令和5年度品川区地域防災計画（素案）について、今後のスケジュールについて決定。
- ・パブリックコメントまでの軽微な修正について、事務局一任で決定。審議終了。

（進行→防災課長へ）

〔事務局：防災課長〕

- ・事務局より「その他」説明

〔司会：災害対策担当部長〕

- ・説明についてご意見・質問等確認

（ご意見・質問等なし）

- ・その他、ご意見・質問等確認

- ・薬剤師会では、災害時に各薬局の医薬品を使用できるように体制を整備した。一方で、現在、医薬品の流通が滞っており、そのような状況の中で災害に遭うことに不安がある。また、災害時において医師、薬剤師が連携して対応することが重要である。

→災害対策本部と医療救護本部の連携について訓練を実施している。区としても体制を整えていく。

以 上